

竹原管内景況調査

3月の数値は業況・採算は好転、売上・資金繰りは悪化

当会議所では、地域商工業者の景況並びに経済動向等に関する情報の収集・分析を行っています。今号では、平成29年3月に実施しました調査結果がまとまりましたので、ご報告いたします。

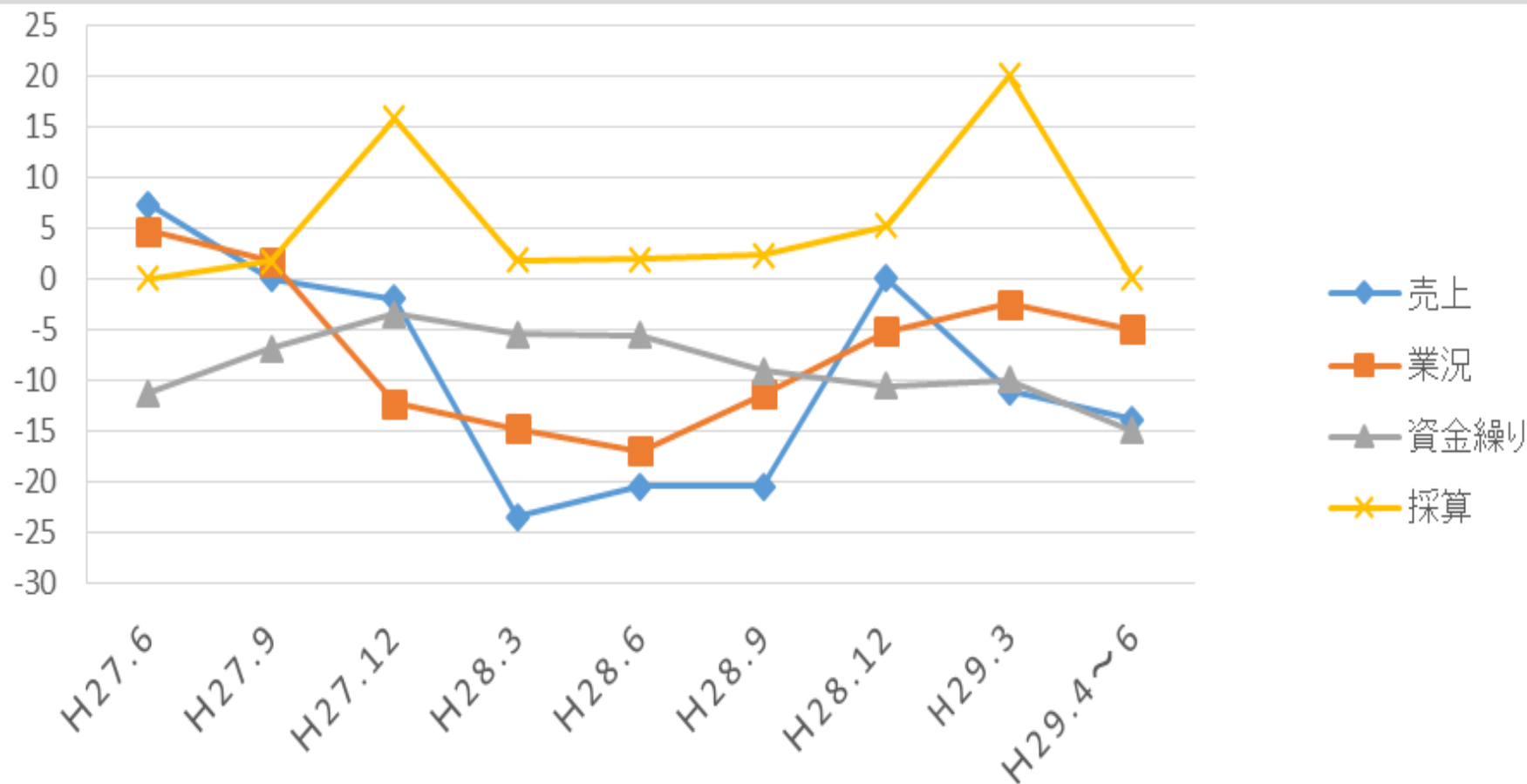
調査概要

【調査時期】
四半期毎に調査(年4回実施)
【調査期間】
平成29年3月
【調査対象】
当商工会議所会員

回答状況

産業	対象事業所	回答数
製造	18	13
建設	6	4
小売	16	10
サービス	18	13
合計	58	40

●全産業におけるDI値



3月のDI数値は、前回調査と比べて、業況・採算は、好転しています。特に採算は、14.8ポイント好転しています。3月と比べて4月～6月までの見通しは、全体的には悪化しており、特に採算については、20ポイント悪化しています。



※DI(ディフュージョン・インデックス)は、各調査項目についての判断の状況を示します。

ゼロ基準として、プラス値は景気の上向き傾向(「良い」)をあらわす回答の割合が多いことを示し、マイナス値(▲)は景気の下向き傾向(「悪い」)をあらわす回答の割合が多いことを示します。

●景況が好転(悪化)した理由について

- ・消費者の節約志向は継続しており、商品に対する値頃感のニーズは強い(製造)
- ・中国経済の悪化が引き続き輸出に影響している(製造)
- ・今だに、地方にはアベノミクスの景気高揚が波及していない(小売業)
- ・人件費削減と、仕入価格が下がりつつある(小売)

●平成29年度の業界動向の見通しについてお聞かせください

- ・アメリカ経済の動向などによる為替の変動により、輸入原材料及び、エネルギーコストの上昇に注視したい(製造)
- ・米国経済の好転が輸出好転につながる可能性がある(製造)
- ・人口減・少子高齢化による経済規模が縮小しているのに、地方の小都市には激安スーパーの攻勢が厳しい(小売)
- ・仕入れ価格が下がると思うので、売上は良くなると

(※アンケート全体から一部抜粋しています。)